

働く人応援へセミナー

県生産性本部と連合埼玉

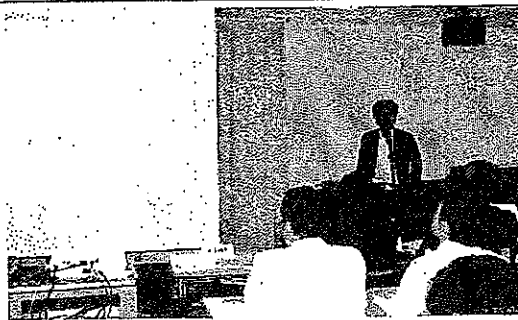
生産性向上に関する調査研究や取り組みを行う県生産性本部(山田吉隆会長)と連合埼玉(近藤嘉会長)は24日、「普通に働く人達が時代についていけるサポートを考えましよう」と題したセミナー(県、埼玉新聞社など後援)をさいたま市浦和区で開催した。経営者や人事担当者ら100人が参加し、時代の変化に即した働き方やキャリア形成の必要性などについて学んだ。

特別講演では、日本総合研究所調査部の山田久理事が「日本型雇用のアップデート」と働き方改革の方向性」と題して講演した。山田氏は「少子高齢化や技術・市場の構造変化」が進む中、これまでの日本型雇用では立ち行かない。特定企業の雇用保障に過度に依存しないキャリアの自律が必要だ」と指摘。「時代の変化に即

した働き方の構築とともに、入り口は職業人としての人格形成を重視する就社型で、出口はプロフェッショナル型となるハイブリッド人事システムが今後求められる」と述べた。

後半では、パソナグループ(東京都千代田区)ソーシャルイノベーション担当部長の加藤遼氏と、ライフネット生命保険(同)人事総務部長の岩田佑介氏がそれぞれ自社の働き方について発表し、参加者と意見交換をした。

(山田浩美)



講演する日本総合研究所の山田久氏。24日午後、さいたま市浦和区の埼玉会館